



兵庫支部NEWS H16 6月号

北九州市立大学同窓会兵庫支部 編集発行人 名越英昭

ホームページ <http://www.hi-net.zaq.ne.jp/kono> メール: nagoshihideaki@yahoo.co.jp

購読料 12回1,500円(送料込)

購読のお申し込みは郵便振替

振替口座00980-2-245822

口座名: 北九州市立大学同窓会兵庫支部

平成16年度兵庫支部総会・懇親会

6月20日(日) 午前11時~午後2時

インド料理レストラン「シャンティ」特設会場 (JR芦屋駅ビル「モンテメール」6階)

[安徳信義氏(44商)経営]

会費: 男性: 7,000円、女性: 5,000円、同伴者: 5,000円

平成15年・16年卒業生無料招待・同窓会会費新規完納者半額招待

総会: 午前11時~正午 懇親会: 正午~午後2時

懇親会アトラクション: 北インド民族楽器「シタール」演奏家石濱匡雄氏出演予定

同窓会本部から 山下建治新会長(33商)、淵田博彦副会長(35米英) 出席予定

関西支部から 御堂隆輝新支部長(47経済)、今井伸子副支部長(35米英) 出席予定

6月9日現在出席予定者: 山中道子(24米英)堀江淳之(32米英)大村実良(32商)岩崎直彦(33商)鷹野哲雄(33商)



藤田博保(35商)伊藤互(35商)高尾巖(36商)河野旺生(36商)山本信司(37米英)名越英昭(37米英)平間正昭(37商)内山正憲(37商)二宮慶治郎(38米英)藤澤一範(38中国)後藤公一(38商)銭谷勘一郎(39米英)吉本富雄(39米英)前原賢作(40商)名倉勝征(41米英)竹下之啓(41米英)永翁正臣(41商)浜田勝義(44米英)竹田秀壽(44米英)川村進(44米英)長岡豊雄(44米英)久芳健二(44中国)安徳信義(44商)山田紘昭(44商)松山仁(44商)澤田英憲(44経営)福永憲彦(44経営)田副忠亮(44中国)隅信(45国文)野田彰男(46中国)真島秀幸(48経営)長谷川英雄(49英文)八木正博(57政治)安部高之(H01米英)佃千登世(H02中国)佐藤研二(H08法律)持永大輔(H13法律)黒澤章子(H14中国専攻)加藤悟(H15経済)

山下新会長を承認

平成16年度第1回評議会開催

平成16年度第1回評議会が5月22日、北九州市小倉北区の九州厚生年金会館で開催され、先般選考委員会にて推薦されていた山下建治氏が、江口会長の後を受けて、第9代の同窓会会長として承認された。山下新会長は「同窓会活動に対する、いろいろな思いはあるが、具体的には10月の第2回評議会で初心を述べたい。とにかく公平な運営を図りたい」と挨拶。



(写真は懇親会で挨拶する山下新会長)

事務局長に村山昌生氏(初代兵庫支部長)

山下新会長就任に伴い、新しい本部役員の制が発足することになり、副幹事長を務めていた村山昌生氏(34米英)が事務局長に選任された。村山氏は昭和61年10月発足の兵庫支部設立に奔走され、初代兵庫支部長として支部の基礎を築いた。(写真は村山昌生氏)



第1回評議会に参加して

兵庫支部評議員平間正昭(37商)

平成16年5月22日(土)午後3時から九州厚生年金会館ウェルシティにて第1回評議会が開催され、兵庫支部の評議員として出席。全国47支部から多少の欠席はあったが、2時間半の熱心な討議がなされた。主な議題は平成15年度の決算と事業報告、平成16年度の運営方針と予算、平成16年度第54回総会・懇親会を10月3日(日)リーガロイヤルホテル小倉にて開催すること、そして同窓会会長選出では、副会長の山下建治氏が会長に選出された。昭和37年卒業以来一度も母校を訪れたことがなかったので、午前中に同期の友人とモルルールに乗って、北方の学舎を訪れた。在学中の思い出の校舎は全く残っておらず、近代的美しい校舎にただただ感動した次第。14階までエレベーターで上がり、小倉競馬場や自衛隊の敷地を眺めながら、北方の学舎の敷地は以前と変わらないのに、こんなに美しい設備に変身した学舎で学べる今の学生は幸せだなあと感じた。

今回もとても嬉しかったのは、学生時代共に軟式テニス部で過ごした仲間と会えたことである。それぞれ卒業以来様々な人生を過ごしてきたのに、会ったとたんに昔の学生時代に戻ることができたひとときでした。

兵庫支部の初代支部長をされた村山昌生氏に久しぶりにお会いした。評議会の司会を務められていたが、立ち話の中で、兵庫支部の皆様によるしくとのことでした。私も兵庫支部の一員として同窓会の為小さなことでもお役に立てればと願っています。

損害保険・医療保険・がん保険

の総合保険代理店

安心の発信基地



大村保険サービス

代表 大村実良
(昭和33年商学部卒)

652-0897

神戸市兵庫区駅南通3丁目4-1-302

TEL 078-671-7318 FAX 078-671-8318



《自然木 高級檜造りの家》

普改築・新築・不動産全般

株式会社瀬戸内ホーム代表 永翁正臣
(昭和41年 商学部卒)

〒671-1103

姫路市広畑区西夢前台6丁目2番地

Tel. 0792-36-0833

Fax. 0792-36-0905

平成15年度収支報告書承認

一兵庫支部役員会開催一

平成16年6月6日(日)午後1時から新長田勤労市民センターにおいて、兵庫支部役員会が開催された。

役員総数22名のうち、委任状を含めて19名が出席し、6月20日(日)に開催予定の総会の準備事項、報告事項、提出議題などについて協議した。

先ず名越支部長より、同窓会会長に山下建治氏(33商)が第1回評議会で選任されたこと、関西支部では御堂隆輝氏(47経済)が新支部長に就任、北九大野球部が39年ぶりに優勝し、神宮で開催される全日本大会に出場することが報告された。

続いて、支部総会の出席予定者は6月5日現在で36名で、本部から山下新会長、湊田副会長、関西支部から御堂新支部長、今井副支部長が出席予定であることが報告され、総会の準備事項について打合せ後、平成15年どの収支報告書について協議。

今回からは、兵庫支部NEWSの収支報告を一緒に報告することとなり、原案通り承認された。



後列左から、三宅隆志、二宮慶治郎、大村実良、藤澤一範、川村連、安徳信義、名越英昭、松山仁

前列左から、馬場清、河野旺生、吉本富雄、平間正昭、高尾巖

次に、昨年11月16日の役員会で審議・決定された兵庫支部規程改正案の総会提出について確認された。

今回は役員改選期にあたるため、次期役員を選任について協議され、馬場会計監査、藤澤会計幹事などの辞任もあり、公認候補や、新しい幹事候補者の推薦があり、名越支部長の続投を決めて、総会に提示すべき新役員の陣容が決まった。

最後に野球部の全日本大会出場に対する応援カンパに兵庫支部として応ずることが決定された。

兵庫支部月例会5月「三金会」

平成16年5月21日(金)午後6時から「フリージア」において開催された。

出席者:大村実良(33商)藤田博保(35商)河野旺生(36商)高尾巖(36商)名越英昭(37米英)二宮慶治郎(38米英)銭谷勘一郎(39米英)前原賢作(40商)安徳信義(44商)植松久治(44米英)黒澤章子(H14中国専攻)以上11名

支部総会を1ヶ月後に控え、総会の準備事項について話題が集中。

5月20日現在での出席予定者は26名、欠席通知は102名、宛先不明10名案内発送総数754名。

新たに同伴者の会費について一律5,000円とすることで合意。

久しぶりに出席された植松氏が同じ職場で働いている黒澤さんを同行して遅れて参加され、雰囲気が一変して、彼女の話題に集中。かつて北京にも留学した経験のある語学力を生かして中国との取引をアシストしている由。支部総会への出席の確約を得て、一同満足。



左から前原、銭谷、黒澤、植松、大村、安徳、高尾

二宮、名越、河野、藤田

北九州市立大学36年ぶり優勝神宮へ

九州六大学野球春季リーグ戦

リーグ戦成績7勝3敗で並んだ3校、北九州市立大学、福岡大学と久留米大学の間で、ともえ戦による優勝決定戦が5月29日に行われ、福岡大学を5対1、続いて久留米大学を2対1、延長11回の末サヨナラ勝ちで見事2連覇し39年ぶりの優勝を決めて6月8日から明治神宮球場で開催の全日本大学野球選手権大会に、国公立大学としては唯一の出場が決まった。

プロも注目の中田賢一投手(4年=八幡)の2試合連続完投勝利で神宮での活躍が期待されている。

大会3日目第2試合で創価大学と対戦し、勝てば、前回優勝チームの日本文理大学を出した九州地区代表の九州東海大学と5日目第3試合で対戦することとなる。

大会に出場する野球部員、これをサポートする応援団、プラスバンド部、チアリーダー等の参加費用が多額となる為、大学当局後援会、同窓会で「応援する会」を結成し、一口2千円で募金活動をしている。

募金受付口座 福岡銀行守恒支店普通502089

野球部を応援する会事務局長丸山聡

事務局 北九州市立大学庶務課内(Tel.093-964-4004)

春季リーグ戦成績

- | | | |
|-----|----------|------------------|
| 第1節 | 4月17日(土) | 北九州市立大学4-1九九大学 |
| | 4月18日(日) | 北九州市立大学3-2九州大学 |
| 第2節 | 4月26日(月) | 北九州市立大学3-5九州国際大学 |
| | 4月28日(水) | 北九州市立大学5-8九州国際大学 |
| 第3節 | 5月5日(祝) | 北九州市立大学5-4久留米大学 |
| | 5月6日(木) | 北九州市立大学3-1久留米大学 |
| 第4節 | 5月15日(土) | 北九州市立大学2-3福岡大学 |
| | 5月18日(火) | 北九州市立大学9-5福岡大学 |
| 第5節 | 5月22日(土) | 北九州市立大学6-0西南学院大学 |
| | 5月23日(日) | 北九州市立大学9-3西南学院大学 |

メール会開催

平成16年5月16日メール会が、明石生涯学習センターにおいて開催された。参加者はゲストを含めて12名。

河野会長が用意されたテキストを各自が選択して、自習する形で、河野会長が講師となり、質問に添えてゆく。

午後1時から4時まで、たっぷり3時間各自熱心にパソコンに取り組んだ。

会場はパソコンが30台ばかり据え付けられており、パソコン練習にはもってこいの場所である。

メール会発足時はファイルの添付方法、添付ファイルの開け方、エクセル画面での各シートの見方など、ごく初歩的なことから勉強する状況であったが、より高度な技術取得を目指している。

兵庫支部会員約750名のうち約80名がメールアドレスを保有しており、メールを通じて何らかの絆を深めることが出来ればと考えている。

(右の写真派は前原、安徳、大村各氏)



パソコンに向う河野会長と名倉氏



第6次リーグ戦始まる

平間初段の連覇で終わった第5次リーグ戦に続いて、5月例会から第6次リーグ戦が始まった。新しく名倉氏も加わり、8名による2回戦総当たり戦で12月までには終了する予定である。

5月例会では4人だけの参加となり、スタートとしてはやや寂しい例会となったが、今後の熱戦を期待したい。

淡路島から西宮へ

一教師の履歴 一第2回一

河野旺生 (36商)

昭和36年3月北九州大学商学部を卒業後、4月16日付けて兵庫県立淡路農業高校仮屋分校に教師として赴任。

そして、5年間淡路島での教師生活を結婚と共に終わり。本州への転勤を希望。赴任先は西宮市立西宮高校夜間の学校でした。教師の採用試験に合格しても、私自身の高校が徳島県であるため、恩師もおらず、縁故も数少ないため、自分が行きたい学校に行けないような教師の世界でした。しかし、民間での就職が厳しい時代ですし、教師という職業はやり甲斐があるし、給与も確実に入るし、当時でもいい職場だったと思います。

さて、淡路島での教師生活の出発点は、その後の教師生活に大きな糧になりました。小さな分校の教師生活がマンモス校ではどうても味わえない、そして経験の出来ない教師生活でした。特に、教員の組合もなく、加入はしているが活動は全くない、又、思想やイデオロギーといった事にとらわれず、面倒な理屈を振り回す上司もなく、自由に出来ました。このような温室育ちが阪神間という都会にやってきました。

この高校は夜間定時制高校で修業年数は4年です。この学校の学級編成は、普通科2クラスと商業科1クラスの1学年3クラスです。そして全学年合計12クラスの構成でした。校長は全日制と夜間定時制の兼務でした。

赴任早々の担任です。受け持ちは商業科の2年生です。夜間校はクラスの生徒の年齢が同じではない。このクラスは一番年下が16歳ですが、一方は30歳の生徒もいました。その差は14歳です。他のクラスでも、当時の私よりも年齢が上の生徒がいました。

当時、九州・四国からの集団就職の盛んな時代でした。新しく中学を卒業して集団で都会の職場に就職、そして、夜間定時制に学ぶことを条件にした就職列車が阪神間に見られました。窓から都会の高層ビルと工場のエントツからの黒い煙にむせる可愛い少年少女が多くいました。

又一方、戦後10数年しか経過していない時代で、地元西宮でも戦前戦中に十分教育を受けていない人々が、終戦と同時に仕事のため、都会に残留した人が夜間中学に入学し、卒業後、夜間高校へと進学して来たのです。

家庭の貧困と家族との絆のない孤独な生活を強いられた人たちでした。今でも覚えています、ある店で店員として働きながら通学していた男子生徒が、まだ18歳の若さで肝臓をやられて入院。余儀なくされました。その入院の元凶は、その子が云ってました。

「俺は夜間に来ているのは、給食がただで食べられるから」と言っています。当時夜間定時制は給食が支給され、それも無料です。冬の暖房は石炭のストーブでしたが、そのストーブの上に給食のパンを載せて、フーフーしながらパンを頬張っていた生徒の嬉しそうなお顔が浮かんできます。

前述の男子生徒は夜間高校に来るまでの生活は、当時はやりの「インスタントラーメン」を朝・昼・夕の3食毎日それだけの食事だったようです。安いインスタントラーメンを買いだめて、生活を切り詰めたがらの食生活が彼の肉体を蝕んでいったのでしょうか。彼は退院後学校を退学したようです。

さて、夜間高校での経験は自分自身の経験が過去にないものばかりでした。このような男子生徒はごく一例に過ぎません。夜間高校のほとんどの生徒は「学校」と「職場」そして「家(ねぐら)」との3ヶ所を毎日、自分なりに一所懸命に関わって行かなくてはならないのです。生徒に質問しました。君たちは学校と職場と家(自分のねぐら)で何処が一番安らぐ場所かと聞いてみたが、90%が学校ですと答えていました。この回答をどうとらえるか、そしてこの回答に対しての立ち向かい方も学ぶ必要に迫られる事になりました。

さて、この教師環境から、いろいろな体験と対応に迫られる事態が次々と出てきます。それは次号に譲ります。

山での歩き方と行動 一シリーズ3一

歩こう会顧問 藤田博保 (35商)

家を出る前に

家族に、何処へ、誰と行くのかをハッキリ伝えておきましょう。なるべく計画書(メモ書)で残して置く事です。道に迷って下山や帰宅が遅れた時、何処へ行ったのか分からず大騒ぎになることがあります。万一、事故の場合も、行先が分からないと救助のしようがありません。

歩き出す前に

準備体操やストレッチングで体をほぐしてから歩きましょう。地元の人から、コースの情報を得ておくのも大切です。(ただし、山を知らない人もいますから、100%鵜呑みにはしないように)。山では多くの場合、トイレがありません。出発前に済ませておきましょう。

登山口をしっかりと確認

登山口はなかなか分かりづらいもの。しっかりと道標がない場合はよけいです。ここで手抜きすると、道を間違えて時間を大幅に無駄にしかねません。地図やガイドブック、道標でしっかりと確認してから先に進みましょう。

歩き始めの30分

歩き始めの30分で体調を見ましょう。その日の調子によって、無理のないペース作りをします。歩き出してから15~30分で小休止をとります。歩いて体が熱くなったら着ているもの1枚脱ぐなど、体温の調整を図りましょう。また、身支度、足ごしらえザックのパッキングなど、不都合なところが出てきますから直します。(以後の休息は体が歩行に慣れてくるので、これよりもやや長い間隔で=30分~1時間に1回=とるようにします。

急な登りでは

歩幅を狭く、一步一步確実に登ります。無理をして速く歩こうなどとは思わず、意識的にゆっくりと歩く事が大切です。靴底は全体を地面にべったりとつけ、やや前傾姿勢でザックを上半身全体で支える感じです。急斜面では石を絶対に落とさないように注意して下さい。万一、落とした場合は「ラクセキ」と大声で下の人に知らせます。

休息時にやること

一回の休息は5~10分です。ザックの背負い具合や靴紐の調整、食べ物や水の摂取など手早く済ませておきましょう。長めの休息では体が冷えないように、歩いている時よりも一枚多く着ておきましょう。地図を広げて現在地の確認も。ただし、出発の音がなかったらいつでも歩き出せるよう「お店」を広げないようにしましょう。

岩場・鎖場では

滑り易い岩場は、三点支持(両手、両足の計4ヶ所のうち必ず3ヶ所をしっかりと手がかり、足がかりにおき、残り1ヶ所だけを動かす)で通過します。両手で鎖にぶら下がると体が振られて、かえって危険です。(続く)

歩こう会6月例会はBBQ大会

6月13日(日)に予定されている歩こう会6月例会は例年通り鳥原貯水池にてバーベキューを楽しむ会を予定している。参加費3,000円で、JR元町駅西改札口に午前10時に集合し鳥原貯水池まで、約1時間のウォーキングで、腹ごなしをしてからバーベキューとなる。

原稿大募集

随筆、旅行記、自分史、短歌、俳句、川柳、写真、本紙に対するご意見、ご感想、何でもOK皆様のご投稿をお待ちしています。

広告大歓迎

掲載料：1/10ページ、一回500円
お申し込みは6回分3,000円でお願ひします。

歩こう会5月例会

丹生山田の里散策と箱木千年家 平成16年5月9日

神鉄箕谷駅→下谷上農村歌舞伎舞台→無動寺→六條八幡宮→丹生宝庫→衝原湖→箱木千年家(約7キロ)

朝から梅雨空を思わせる雨が降り、参加を見合わせる人もあり、一週間後に迫ったメール会の打合せも兼ねた河野旺生(36商)、二宮慶治郎(38米英)、安德信義(44商)、名越英昭(37米英)の4名が、ともかく集合地の神鉄箕谷駅で落ち合わせる事となる。土砂降りの雨でもないし、折角きたのだからと、ウォーク決行とし、最初の目的地・農村歌舞伎舞台へと、雨の中を出発。



農村舞台と称されるものは全国に約2千ヶ所、県下に約120ヶ所あるとのことだがここは規模・機構において優れ、国の有形民俗文化財に指定されている。

畠の中の踏み分け道のような細い道を通り抜け、青葉台の新興住宅地を通過して、田園地帯の広がる農道を西へ西へと歩き成道寺前を通過する頃は雨も小降りとなる。

若王子無動寺へ向う坂道の手前には、「新兵衛石」という石碑がある。1770年ごろ庄屋の息子が、早魃被害で高い年貢の軽減を、領内巡視中の藩主に直訴し捕われたが、15歳の若さにもかかわらずその勇氣、理路整然とした主張に訴えを聞き届けられ罪を問わず、年貢も軽減されたため村人が記念の石を据えた由。本日のコースで唯一の坂道を10分ばかり登り、無動寺に到着。

無動寺は推古天皇の時代に建立されたのが始まりで、幾多の盛衰の後、1752年再建されたもの。本堂には平安末期の作といわれる本尊の大日如来像をはじめ、5体の国指定重文の仏像が安置されている。すぐ近くには同寺の鎮守社である若王子神社があり、これも国重文で、1297年と1408年の棟札があるとのこと。折角だから拝観料200円払い、ありがたく拝ませていただいた。

雨上がりの涼しいウォーキングとなり、更に西へと歩く。数日前に下見した筈なのに左へ道をとるところを直進してしまい、引き返すはめとなったが、六條八幡宮に到着。この神社の横には三重塔が建てられており、神仏一体という思想から仏教建築の三重塔が神社と一緒に建てられていたが、明治以降は区別され全国で18ヶ所、県下では3ヶ所のみに塔が残されている由。この塔も国重文であり、約500年前の建立とか。



(六條八幡宮と三重塔)

六條八幡宮を後にして、車道まで出て、車道沿いのサイクリングロードを歩き、衝原湖畔まで向う。雨も上がり快適なウォークだが、昼はとっくに過ぎてお腹も空いてきた。その為か安德氏の足が早くなってきた。湖畔にやっと到着。自然休養村管理センターの建物の中で昼食をとることにする。すでに午後1時だ。ここで当初の目的のメール会打合せをする。



(足早に歩く安德氏)

帰りのバスが午後2時半なので、昼食を早々に済ませて、最終目的の箱木千年家見学に出掛ける。

箱木千年家はわが国現存最古の民家と推定されており、母屋は室町時代前半に建てられたものと言われています。呑吐ダム建設に伴い、水没することになり旧位置から約70メートル東南の現在地に移築されたもの。江戸中期頃に建てられた「離れ」と共に移築されている。河野氏は移築される前の千年家を訪ねた事があるとのこと。



千年家の前で名越、安德、河野

屋内には昔懐かしい農機具や台所用品や教科書なども展示されており興味深い。

雨の中の出発であったが、途中で雨も上がり、もっと多くの参加があれば良かったのと思いつつ帰路につく。

六甲全山縦走を目指して 一第4回分割縦走

記念碑台→みよし観音→凌雲台→一軒茶屋→縦走路分岐点→船坂峠→大平山→し尾寺→湯本台広場(ゴール) 約22キロ
いよいよ最終のコースになった。天候不順で雨も心配されたが曇天ながら雨は降ってなくて、JR六甲道駅から二宮氏息子さん運転の車で出発地点の記念碑台まで送っていただく。

過去3回同行の高尾、安德両氏は取りやめとなり、昨年縦走完歩した二宮氏が、そのときは夜道をヘッドランプ頼りに歩いた為コースの状況がつかめず、今回は再確認目的で参加。

記念碑台には六甲山開発に尽力された英人グループ氏を顕彰する胸像がある。



グループ氏の胸像と二宮氏

9時半いつもの通りストレッチング後に出発。天候のためか参加者がこれまでで一番少ない。あとで発表された参加者数は234名。神戸ゴルフ場内の通過して、みよし観音から極楽茶屋・一軒茶屋へと、かって歩こう会で歩いたコースに行く。雨を心配した主催者は早目の昼食を、一軒茶屋周辺でとらせた。昼食後11時40分に出発した。ここからは筆者にとって未踏のコース。暫く車道を歩き、鉢巻山トンネルを通過してまもなく縦走路分岐点で車道から左折して山道を下り船坂峠へと向う。暫く下り坂が続き後は比較的平坦な道だが、一列縦隊で歩かねばならない道幅で時折岩場の急坂があるとたちまち渋滞してしまう。長々と続く山道を登ったり下ったりしながら約2時間半歩くと、



完歩証を手にした筆者

ゴールまで3キロ地点の塩尾寺(えんぺいじ)に到着。縦走本番ではこの山道を暗闇の中でヘッドランプを頼りに歩くのは前後に人がいなければずい分と寂しいだろうと本番に思いを馳せる。塩尾寺からゴールまでは舗装道路のなが〜い下り坂が続く。ほぼ20キロ歩いた後の下り坂は膝にこたえて苦痛を感じる。30分余りの苦行の後、やっとゴールに辿り着いた。全コースを分割ながら完了11月の本番まで6ヶ月。もっともつと鍛えなくては！！

兵庫支部月例会『三金会』会場

毎月第三金曜日午後6時～8時

すなっく

フリージア

神戸市中央区北長狭通 2-5-1
タイシンサンセットビル 6F
電話078-392-2466



お気軽においで下さい

1階は
がんこ寿司

JR元町

JR三宮